



振動応用技術で、世界を開く

バッテリースイーパー 取扱説明書



ES-B770A

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

○ ま え が き

このたびはエクセン製品をご購入いただきありがとうございます。この製品は徹底した品質管理のもと製造されています。

スイーパーについてのご質問がありましたら、販売店もしくは最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

この取扱説明書は、スイーパーを安全で効率的に使用していただくためのものです。ご使用前に注意深く「安全注意事項」の章をお読みください。

この取扱説明書は、ユーザーがいつでも見られるようにスイーパーとともに保管してください。この製品の貸与、または販売した際、一緒に取扱説明書もお渡しください。

この取扱説明書の画像は一般理解のためのもので実際とは異なる場合もあります。

も く じ

○ ま え が き	1
○ はじめに	2
○ 安全注意事項	3
○ 各部の名称	1 1
○ 運転の開始	1 3
○ スイーパーを使う	1 5
○ 運 搬	1 9
○ ハンドルの取りはずしと保管	2 0
○ 保守および注意	2 2
○ 仕 様	2 5
○ トラブルシューティング	2 6

○ はじめに

1.1 シンボルマークについて



警告：危険な事態を示す。人に及ぼす健康被害や致命的な事故の恐れがあります。



注意：警告や注意を防げない場合、資産や周囲のものに損害を及ぼす恐れがあります。

注）：効率的で円滑な動作のための情報と同様に役に立つヒントおよび推奨事項。

1.2 技術改良

製品の仕様変更などにより予告なく変更される場合があります。そのため、ユーザーのご購入時の取扱説明書と内容や仕様が異なる場合がございます。

1.3 保証

- ・スリープリップや傾斜ホイール・ホイールのような消耗部品は除外されます。
- ・純正部品を使用してください。
- ・スリーパーの改造は一切行わないでください。
- ・明らかに使用状況が悪い場合は保証の対象外となります。

1.4 対象者

この取扱説明書はE S - B 7 7 0 Aを使用する人を対象にしています。

前提条件

- ・スリーパーを操作する人は機械の使用に関する危険性を知らされていなければなりません。
- ・スリーパーを操作する人は休息を取って、健康状態が良好でなければなりません。
- ・スリーパーを貸し出す場合は、スリーパーに精通している人に対して貸与してください。
- ・今回初めてスリーパーを使用する人は操作する前に、スリーパーに精通した人による、安全運転の説明を受けなければなりません。
- ・子供にはスリーパーを触らせないでください。
- ・監督者のもと訓練を受ける方を除いて、未成年者はスリーパーを運転してはなりません。
- ・安全責任を負う監督者や使い方を知る方からの指導がなければ身体的、精神的に制限のある方や経験や知識が欠如する人（子供を含む）がスリーパーを運転してはなりません。
- ・健康上の理由により激しい身体活動を禁止されている人は、スリーパーの使用前に医師に相談してください。
- ・アルコール、反射時間が悪化する薬やその他の薬の服用後は、スリーパーを運転しないでください。

○ 安全注意事項

安全注意事項は、スリーパーの不適切な使用によって起こりうる身体への危険、財産への損害を未然に防ぐためのものです。

こうした理由から使用前にこの取扱説明書をきちんとお読みいただき安全注意事項を守ってください。

取扱説明書記載の事項を守らなかったために生じた事故や損傷の責任はユーザーにあります。

2.1 使用用途

このスリーパーは、最先端の技術と認識に従って設計され安全規制を満たしています。

それでもなお、ユーザーまたは第3者への危険やスリーパー本体または他の物的資産への損害につながる可能性があります。

スリーパーは、商用目的での利用を想定しています。たとえばホテル、学校、病院、工場。

スリーパーは、道路の汚れ、落ち葉、草、紙および同種のことを清掃するために設計されています。砂利道、雪道、水たまりでは使用しないでください。

清掃以外への使用には不適切です。その結果として発生する損傷に対しては責任を負いかねます。ユーザーは自身で関連リスクの責任を負う必要があります。

不適切な使用によって発生する損傷は、いかなる種類の責任も一切負いません。

スリーパーを使用する場合は次の情報を守ってください。

- ・この取扱説明書の中の「安全注意事項」。
- ・この取扱説明書の「仕様」の章。
- ・メーカーによる運転、保守および保管状態のコンプライアンス事項。
- ・騒音発生装置の運転を禁止する国、自治体の規制。

スリーパーで次のようなものを回収しないでください。

- ・発火性があるもの（ライター）、火のついたもの（タバコやマッチ）
- ・可燃性、爆発性のものや有毒物
- ・ロープやひも状のゴミ

スリーパーは爆発の危険区域での使用、または輸送手段として使用しないでください。

2.2 運転のための安全注意事項／安全運転維持

スニーカーを使用する場合は、きちんとした服装で操作してください。

長い髪は、帽子などで覆ってください。また、だぶだぶの服装やネックレスなどの装身具は、スニーカーへ巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

規則で求められる場合や必要だと判断した場合は保護具を使用してください。

- ・滑り止めのついた履物を使用してください。
- ・粉じんの多い場所や舞っている所では、防じんマスクを着用してください。
- ・安全手袋を着用してください。

使用目的が遂行できるように保守作業を徹底し、また安全性、周囲のものに注意を払ってください。

スニーカーについてのすべての安全規定と危険性規定に従ってください。

ユーザーはスニーカーを末永く使用するため、すべての警告と情報の認識および理解をしてください。

純正部品および付属品以外の部品を使用しないでください。

メーカーの許可なくスニーカーの安全性を損なう改造も行わないでください。純正部品および付属品以外の部品を使用したことで発生した負傷や財産への損害は責任を負いません。

スニーカーの改造は一切行わないでください。

この取扱説明書に記載されている保守作業を定期的に行ってください

2.3 バッテリーと充電ソケットに関する情報

警告

- ・バッテリーを直射日光、熱、裸火、電気火花から保護してください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・充電器の近くで飲食しないでください。
- ・ケーブルや電気機器を取り扱うときは、火花が出ないようにしてください。
- ・バッテリーは、マイクロ波放射または高圧にさらさないでください。
- ・バッテリーを、火の中に投げ込まないでください。
- ・ぬれた手でバッテリーや充電器を触らないでください。
- ・本機や充電器に水をかけないでください。
- ・危険物のある場所で充電しないでください。

事故の危険

- ・故障、破損、変形したバッテリーを充電または使用しないでください。
- ・バッテリーを開けたり、破損したり、落としたりしないでください。
- ・バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。

注 意

不適切なバッテリーの取り扱いによる機械の損傷。

- ・製造元の純正バッテリーのみを使用してください。
- ・バッテリーの充電は、スリーパーと付属の専用充電器を使用してください。
- ・バッテリー端子を短絡させないでください。
- ・充電ソケットに短絡を生じさせないでください。
- ・バッテリー端子を金属製のものに接続（短絡）しないでください。バッテリーが短絡すると破損することがあります。
- ・使用しない場合は、バッテリーを金属製のもの（釘、コイン、ジュエリーなど）から遠ざけてください。
- ・金属製の輸送用容器は使用しないでください。
- ・雨からバッテリーを保護してください。液体には浸さないでください。
- ・最高温度：
 - ・使用：－１０ ～ ５０ ℃
 - ・充電： ０ ～ ４０ ℃
 - ・保管：－１０ ～ ４０ ℃

注)

- ・放電されたバッテリーは満充電にしてください。
- ・最適な寿命を得るためにバッテリーを少なくとも２ヶ月毎に約１０時間充電してください。
- ・バッテリーは常に清潔で乾燥した状態で保管してください。
- ・使用する前にバッテリーを満充電にしてください。
- ・バッテリーは自然劣化の影響を受けます。耐用年数は理想的な条件の下で約３～５年です。
- ・スリーパーは、バッテリーの自己放電を防ぐためバッテリーケーブルが接続されていません。スリーパーは、このケーブルの接続なしでは操作できません。バッテリーも充電できません。
- ・スリーパーを初めて使用する前に、バッテリーケーブルを接続してください。（「４.２ バッテリーケーブルの接続」を参照）

2. 4 充電器に関する情報

電気ショックによる致命傷の危険

- ・故障または損傷した充電器を使用しないでください。
- ・充電器を開けないでください。
- ・充電器接続ケーブルの損傷を定期的に確認してください。接続ケーブルが損傷している場合は直ちに電源プラグを抜いてください。
- ・充電器の通気口にもものを入れないでください。感電または短絡の危険があります。
- ・接続ケーブルとプラグの絶縁が良好な状態であることを確認してください。
- ・電気の接続は正しく取り付けられたソケットのみ接続してください。
- ・充電器を使用した後はメインプラグをソケットから抜いてください。

爆発の危険

充電器は火花を発生させ粉じんや蒸気を発火させる恐れがあります。

- ・爆発の危険がある場所や可燃性の液体（蒸気）、ガスまたは粉じんが存在する環境で使用しないでください。

火災の危険

- ・可燃性の表面（紙、布など）や易燃性の環境下で使用しないでください。
- ・可燃性の環境下で運転しないでください。
- ・充電器から煙や火災が発生した際は直ちに電源プラグを抜いてください。
- ・ケーブルや電気機器を取り扱う場合は火花が出ないようにしてください。
- ・充電器が冷却されるまでカバーを掛けしないでください。

事故の危険

- ・バッテリーが故障、損傷、変形している場合は絶対に充電しないでください。
- ・故障した充電器を使用しないでください。
- ・充電器は正しく取り付けられたソケットに接続してください。
- ・充電器は子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・充電器の近くでは飲食しないでください。バッテリーの充電時にガスが発生することがあります。
- ・国内規定に準拠していない接続ケーブルは使用しないでください。
- ・接続ケーブルを損傷しないように配線し危険を及ぼすことのないようにしてください。

注 意

充電器の不適切な取り扱いによる機械の損傷。

- ・付属の充電器のみを使用してください。
- ・付属の充電器は鉛蓄電池専用です。他のタイプの電池を使用すると爆発し人身に危害を及ぼす恐れがあります。
- ・充電器は銘板に記載されている電源電圧および周波数に接続してください。充電器は正しく取り付けられたソケットに接続してください。
- ・ケーブルを引っ張ってプラグをソケットから引き抜かないでください。必ずプラグを持って抜いてください。損傷を受けたケーブルは修理してください。
- ・充電器は屋内専用です。日が当たらず密閉し乾燥した部屋でのみ使用し保管してください。
- ・雨や湿気から充電器を守ってください。
- ・充電器は－10～40℃の周囲温度で使用してください。
- ・充電器の接点を金属製の物（釘、コイン、ジュエリーなど）に接続（短絡）しないでください。充電器が短絡すると破損する可能性があります。
- ・接続ケーブルは他の目的で使用しないでください。充電器を持ち運びまたは持ち上げるなど。
- ・電源ケーブルは、この充電器以外には使用しないでください。

注)

- ・付属の充電器のみを使用してください。

2.5 運搬の手順

注)

- ・ダストケースのハンドルを持ってスリーパーを運搬しないでください。
- ・車で運搬する場合は、転倒防止のためスリーパーを固定してください。

2.6 初めて使用するための指示

注)

- ・スリーパーはバッテリーの自己放電を防ぐため、バッテリーケーブルが接続されていません。
- ・スリーパーはバッテリーケーブルの接続なしでは、バッテリーを充電することができません。スリーパーを初めて作動させる前にバッテリーケーブルを接続してください。
- ・初めて使用する場合は、付属の充電器を使用してバッテリーを満充電してください。

2.7 作業準備に関する手順

けがの危険

作業者は操作して差し支えない健康状態の際に、スリーパーを操作してください。

- ・スリーパーはすべての部品が損傷を受けていない場合に限り、操作してください。
- ・スリーパーを操作して差し支えないことを確認してください。取扱説明書の相当する章に注意してください。

2.8 運転の手順

引火性

- ・発火性のあるもの（ライター）、ロープやひも状のゴミ、燃えているもの（タバコ、マッチなど）は回収しないでください。

事故リスク

- ・使用目的を守ってスイーパーを使用してください。
- ・スイーパーの上に乗ったり、移動手段に使用しないでください。
- ・備えつけのダストケースがない状態でスイーパーを運転しないでください。
- ・回転中のブラシに絶対手を入れないでください。
- ・走行中のスイーパーに絶対手を入れないでください。
- ・スイーパーを操作している場合、周りに子供がいないか注意を払ってください。
- ・路面がぬれている場所で使用する場合は滑らないように注意してください。スロープまたは斜面では滑る危険性があります。
- ・運転中、柵や足場にスイーパーが衝突しないようにしてください。ものが倒れたり、落下したりする危険性があります。
- ・疲労を溜めないように適度に休息を入れてください。
- ・円形ブラシやブラシロールにゴミなどが詰まっている場合は、詰まりを取り除いてください。ガラス片、金属片または鋭利なもので手を切らないように安全手袋を着用してください。
- ・スイーパーが負荷を受けた場合（たとえば衝突や落下）操作に差し支えないか確認してください。また、「2.7 作業準備に関する手順」を参照してください。
- ・何らかの損傷を受けたスイーパーを使用しないでください。ご質問がありましたら、販売店もしくは最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

爆発の危険性

火花は爆発の危険区域で塵または蒸気点火し、爆発を起こすことがあります。

- ・爆発の危険がある範囲で絶対にスイーパーを使用しないでください。
- ・可燃性液体（蒸気）、ガスまたは塵の近くで絶対にスイーパーを使用しないでください。

けがの危険

- ・スイーパーは1人で運転することを想定して設計されています。他の人と一緒に操作を行わないでください。
- ・スイーパーに子供、動物を近づけないでください。
- ・ユーザーは、他人や所有物相手に発生する事故やリスクの責任を負っています。

注意

不適切な使用によるスイーパーへの損傷。

- ・操作する上で著しい変化（かなり震える、動きが鈍いなど）があった際、作業を中断し原因を調べてください。
- ・スイーパーを雨ざらしにしないでください。

注)

- ・落ち葉を回収する場合に、スイーパーの前方を持ち上げて、ゴミをダストケースの後ろ側に一時的に移動させることによって、より落ち葉を回収することができます。
- ・両手でハンドルを押してください。
- ・スイーパーを前へ押しながら状況に応じた速度で使用してください。
- ・スイーパーは、わずかにハンドルを押し下げることによって2～3 cmの段差を乗り越えることができます。
- ・障害物（歩道縁石など）をスイーパーで押すと損傷する恐れがあります。
- ・清掃能力が低下したらダストボックスがいっぱいか、円形ブラシとブラシロールの間にゴミが詰まっているか、ブラシが摩耗していないか確認してください。

2.9 ダストケースがいっぱいになっているレベルの情報

注)

- ・ゴミが回収できない場合はダストケースの容量がいっぱいです。
- ・引き続き作業を継続する場合スイーパーの前方を持ち上げてください。ゴミをダストケースの後ろ側に一時的に移動させることによって、よりゴミを回収することができます。

2.10 スイーパーの掃除手順

注)

- ・掃除は適切な機能およびスイーパーの長寿命を確保するために必要です。
- ・蓄積されたゴミ、およびブラシロールの取り付け金具の後ろに巻きついたロープやひも状のゴムなど、スイーパーの動きを悪くし、本来の機能を損なう可能性があります。

けがの危険性

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

注 意

不適切な清掃によるスイーパーへの損傷。

- ・清掃を行うためにグリス除去剤を使用しないでください。
- ・強い洗浄剤を使用しないでください。
- ・圧縮空気で円形ブラシおよびブラシロールを清掃しないでください。
- ・水によるスプレー洗浄（ハイウォッシャー）または水に浸漬しないでください。
- ・湿らせた布などでプラスチックの部品をふいてください。

2.1.1 作業終了時の手順

注)

- ・使用後はゴミを捨ててから保管してください。

健康リスク

- ・ほこりが舞い上がらないように可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。

2.1.2 保管に関する指示

事故リスク

- ・ハンドルが不意に倒れる場合があるのでハンドルの継手部分（ハンドルホルダーとハウジングの間）に手を入れないでください。
- ・スイーパーを保管する場合は安全な所においてください。
- ・不適切な利用を防止するためにスイーパーを厳重に保管してください。
- ・スイーパーが落下したり、ハンドルが不意に倒れたりしないようにスイーパーを固定してください。

注)

- ・屋根のある場所でスイーパーを安全に保管してください。
- ・直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・火やファンヒーター・ストーブ、その他の放熱設備などの熱源のそばでは保管しないでください。

2.1.3 メンテナンスおよび修理に対する手順

注)

- ・定期的にスイーパーのメンテナンスを行ってください。

注 意

不適切なメンテナンスによるスイーパーへの損傷。

- ・修理やオーバーホールをする場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

2.1.4 廃棄に関する手順

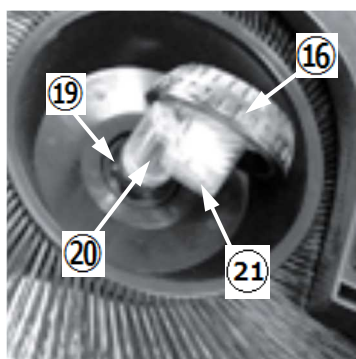
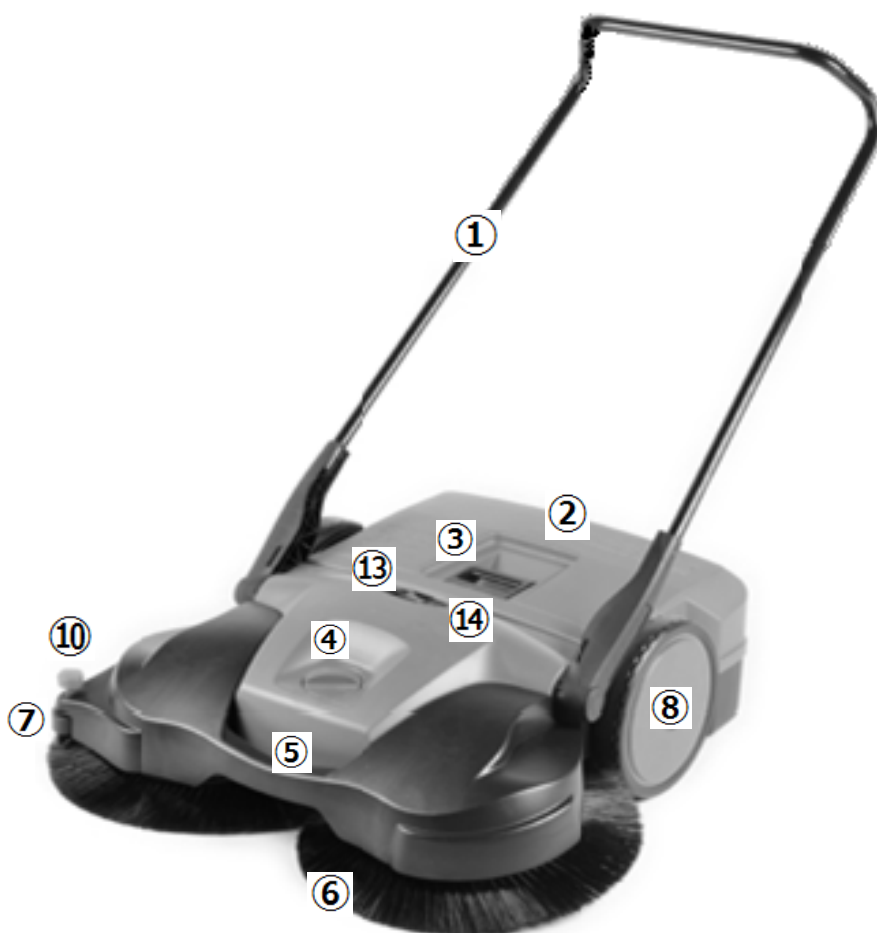
注 意

- ・環境負荷物質（特に交換部品の不適切な廃棄）の不適切な取り扱いが環境に相当なダメージを与える可能性があります。

○ 各部の名称

3. 1 重要な構成部品

1. ハンドル
2. ダストケース
3. ダストケースハンドル
4. 高さ調整ダイヤル
5. キャリングハンドル
6. 円形ブラシ
7. エッジガイドローラ
8. ホイール
9. ブラシロール
10. ブラシ押え装置
11. フィルター
12. シリアル番号
13. ON/OFFスイッチ
14. LEDインジケータ
15. バッテリー
16. 傾斜ホイール
17. スイープリップ
18. スイーププレート
19. クラッチ
20. ギヤスリーブ
21. ギヤ保護具



3. 2 LEDインジケータ

スリーパーのON/OFFスイッチの横にあるLEDは、操作中のバッテリーの充電状態を示します。

- ・赤と緑のLEDが点滅：バッテリーの充電量が少なすぎるため、スリーパーの電源が自動的にオフになります。

1. スリーパーをオフにします。（「5.5 スリーパーをオフにする」を参照）
2. バッテリーを充電してください。（「4.3 バッテリーを充電する」を参照）

3. 3 過負荷保護装置

モーターは損傷を防ぐために過負荷保護装置が装備されています。スリーパーは過負荷が発生した際（ブラシがロックされた）自動的にスイッチをオフにします。



○ 運転の開始

4.1 ハンドルの取り付け

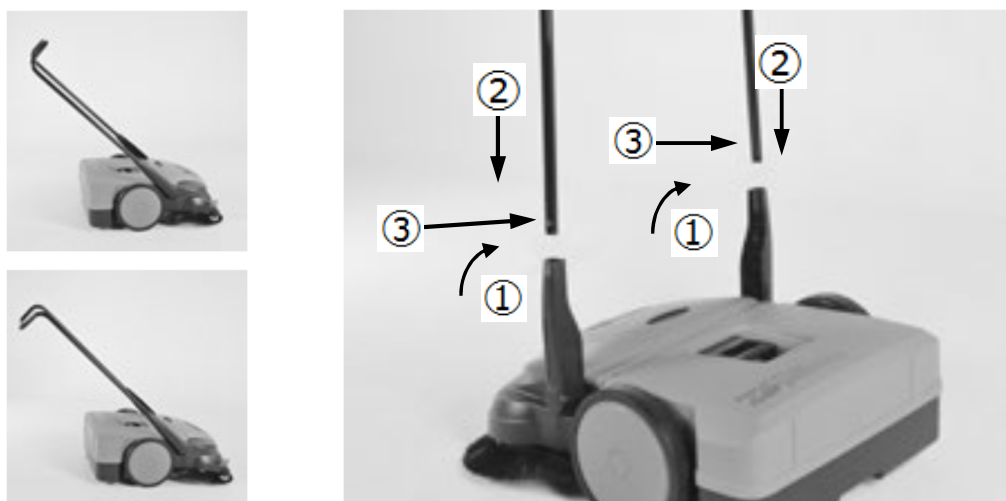
けがの危険性

- ・ハンドルが倒れて、けがをしないようにしてください。

注)

ハンドルは、ユーザーの背丈に応じて2段階に調整できます。

1. ハンドルホルダー (①) が上方向へ垂直になるように回してください。
2. ハンドル (②) にスプリングクリップ (③) を押し込んでください。
3. 同時にハンドル (②) を2つのハンドルホルダー (①) に押し込んでください。
4. スプリングクリップが噛み合うまでハンドルホルダーにハンドルを押し込んでください。



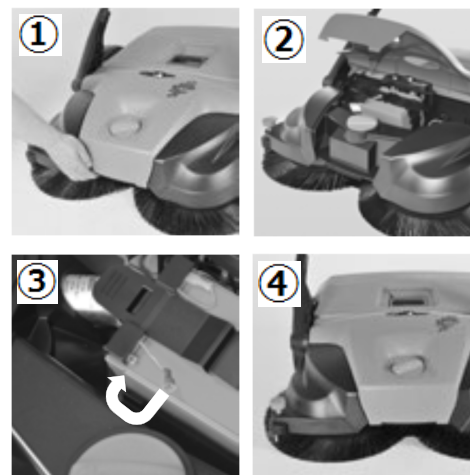
4.2 バッテリーケーブルの接続

⚠ 注意

不適切な接続によるスリーパーの損傷。

- ・ケーブルをバッテリーに間違えて接続すると、スリーパーが損傷し保証できなくなることがあります。

1. 前方の底部の端 (①) でカバーを前方に引きます。
2. カバーを上を開けます (②)。
3. バッテリーケーブルをバッテリー (③) の接続端子に差し込みます。
 - ・赤=正の端子 (+)
 - ・青=負の端子 (-)
4. カバー (④) を閉じます。



4.3 バッテリーを充電する 注)

バッテリーを充電する場合は必ず専用の充電器を使用してください。

充電器は電圧および電流制限機能を備えています。そのため接続されたバッテリーが常に最適な充電状態に保たれます。これによりバッテリーの過充電が防止されます。

- ・充電中はスリーパーの電源を入れないでください。
- ・スリーパーを初めて使用する前にバッテリーを満充電にすることをおすすめします。
- ・充電器の電源ケーブルは、スリーパーの充電以外には使用しないでください。

1. 充電器のプラグをスリーパーの充電ソケットに差し込みます。
2. 充電器の電源ケーブルを100V電源コンセントに差し込みます。

- ・充電中は充電器のLEDランプが赤く点灯します。
- ・満充電まで約3時間かかります。

(充電時間はバッテリーの放電状況により異なります。)

- ・充電が完了すると充電器のLEDランプが緑色に点灯します。
- ・充電器のLEDランプが点滅している場合は、どこかで異常が発生しています。異常の原因を特定した後、復旧してください。

3. 電源ケーブルをコンセントから抜きスリーパーから充電プラグをはずします。



○ スーパーを使う

5.1 バッテリーの動作

注)

- ・円形ブラシの回転が遅くなったり、充電ランプが赤く点灯した際は、スーパーの電源を切りバッテリーを充電してください。完全に放電する場合は保証されません。

1. スーパーを確認してください。（「8 保守および注意」を参照）
2. スーパーを調整します。（「5.4 スーパーの調整」を参照）
3. スーパーのスイッチを入れます。（「5.3 スーパーのスイッチを入れる」を参照）
4. 両手でハンドルを操作してください。
5. 通常の歩行速度でスーパーを押してください。
6. 必要に応じてダストケースのゴミを捨ててください。（「5.6 ダストケースを空にする」を参照）
7. スーパーのスイッチをオフにします。（「5.5 スーパーをオフにする」を参照）

5.2 使用方法

スーパーはモータのアシストなしで一時的に操作することもできます。

1. スーパーを確認してください。（「8 保守および注意」を参照）
2. スーパーを調整してください。（「5.4 スーパーの調整」を参照）
3. 両手でハンドルを操作してください。
4. 通常の歩行速度でスーパーを押してください。
5. 必要に応じてダストケースのゴミを捨ててください。（「5.6 ダストケースを空にする」を参照）

5.3 スーパーのスイッチを入れる

事故の危険

足でON/OFFスイッチを操作しないでください。

1. スーパーを確認してください。
（「8 保守および注意」を参照）
2. ON/OFFスイッチを、「I」の位置に切り替えます。
3. 円形ブラシとブラシロールが回転し始めます。



5.4 スーパーの調整

円形ブラシの調整

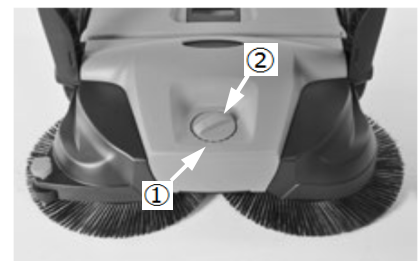
注)

- ・円形ブラシを地面へ強く押さえつけないでください。
- ・過剰に押し付けても清掃効果が高まるわけではなくブラシの摩耗が進みます。
- ・過剰に押し付けると押し込み抵抗が高くなります。

注)

円形ブラシの高さ調整ダイヤルは前部分の中央にあります。高さ調整ダイヤルは円形ブラシの高さを調整し、ゴミの回収調整するものです。

1. 必要なレベルに調整してください (①)。
 - ・レベル 1-2 : すべて平らで硬い表面向き。
(アスファルト、コンクリートスラブ、床タイル)
 - ・レベル 3-4 : ぬれた落ち葉、砂、水平の床向き。
(洗浄したコンクリートスラブ、むき出しの骨材コンクリートタイル)
 - ・レベル 5-8 : かなり汚れのひどい所および非常にでこぼこの表面向き。
2. 上記を参考に高さ調節ダイヤル (②) を希望の位置へ回してください。
通常はダイヤル1～3で使用し、ゴミの回収が悪くなったら1段ずつ上げてください。
ダイヤル8まで調整が必要になった際は、部品の交換が必要です。



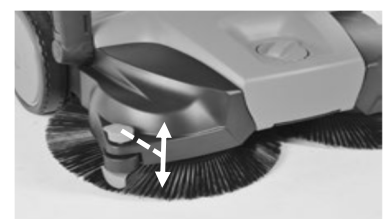
ブラシ押え装置の調整

注)

ブラシ押え装置で右の円形ブラシを調整して隅を掃除できます。(壁および縁石など) 低過ぎる位置で調整した際は、過度の磨耗が発生する可能性があります。

ブラシ押え装置は地面でこすらないでください。

- ・隅およびコーナールの掃除 : ブラシ装置のハンドルを押し下げてください。
- ・表面における操作 : 据え付けブラシ装置のハンドルを引き上げてください。



5.5 スイーパーをオフにする

事故の危険性

足でON/OFFスイッチを操作しないでください。

1. ON/OFFスイッチを「0」の位置に切り替えます。
2. スイーパーを確認してください。（「8 保守および注意」を参照）
3. バッテリーを充電してください。（「4.3 バッテリーを充電する」を参照）

5.6 ダストケースを空にする

負傷の危険性

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

健康リスク

- ・ほこりが舞い上がらないように可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。
- ・ほこりが舞っている状態で防じんマスクを着用してください。

注)

使用後はゴミを捨ててから保管してください。

性能を維持するために定期的にダストケースのゴミを捨ててください。

1. 平らになるようにハンドルを折りたたんでください。
2. ダストケースハンドルを上引きしてください。
3. ダストケースを取りはずして回収したゴミを捨ててください。
4. ダストケースの合わせ部分が汚れていないことを確かめてください。
5. ダストケースを取り付けてダストケースハンドルをロックしてください。



5.7 スーパーの掃除

事故の危険

スーパーの誤った動作によるけがの危険

- ・すべての作業を行う場合は、スーパーをOFFにして電源をはずす必要があります。
- ・掃除中はスーパーを走行させないでください。
- ・掃除中はスーパーの電源をはずしてください。バッテリーからケーブルをはずします。

負傷の危険性

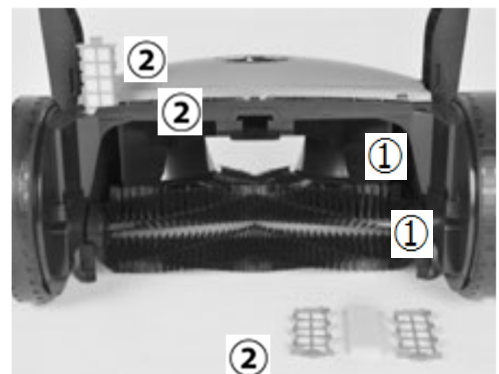
- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

⚠ 注 意

不適切な清掃によるスーパーへの損傷。

- ・ほこりと汚れを取り除くためにスーパーを清掃してください。
- ・清掃を行うためにグリス除去剤を使用しないでください。
- ・強い洗浄剤を使用しないでください。
- ・高圧洗浄機で清掃しないでください。
- ・水分からベアリングを保護してください。
- ・水によるスプレー洗浄（ハイウォッシャー）または水に浸漬しないでください。
- ・圧縮空気で円形ブラシおよびブラシロールを清掃しないでください。圧縮空気の噴射はブラシの毛を損傷する可能性があります。
- ・湿らせた布などでプラスチックの部品をふいてください。
- ・水で掃除したり、水に浸したりしないでください。水分によって電気部品が損傷し短絡が発生する可能性があります。
- ・8時間の稼働毎に清掃を行ってください。

1. 円形ブラシおよびブラシロール (①) の汚れを取り除いてください。また湿らせた布で駆動装置をふいてください。
2. 湿らせた布でプラスチックの部品をふいてください。
3. フィルター (②) を水で洗浄してください。



○ 運 搬

6.1 スーパーを運ぶ

負傷の危険性

- ・ユーザーがけがをしないように、しっかりとスーパーを持ってください。
- ・ダストケースのハンドルを持ってスーパーを運ばないでください。

注)

キャリングハンドルを持ってスーパーを運んでください。スーパーを落とさないでください。

1. 平らになるようにハンドル (①) を前方へ折りたたんでください。
2. キャリングハンドル (②) を持ってスーパーを持ち上げてください。
3. 円形ブラシが外側に向くように持ってスーパーを運んでください (③)。



6.2 車両を使ってスーパーを運搬する

⚠ 注 意

不適切な運搬によるスーパーへの損傷。

- ・円形ブラシの毛先が曲がらないようにスーパーをおいてください。
- ・倒れたり落下したりしないようにスーパーを固定してください。
- ・固定ストラップを使用しスーパーが滑らないように固定してください。

1. ハンドルを取りはずしてください。
(「7.1 ハンドルの取りはずし」を参照)
2. スーパーを車両に乗せてください。
3. 固定ストラップでスーパーを固定してください。



○ ハンドルの取りはずしと保管

7.1 ハンドルの取りはずし

負傷の危険性

- ・ハンドルを倒して、けがをしないようにしてください。

注)

車両で運搬時に省スペース化するため、ハンドルをスイーパーから取りはずすことができます。

1. ハウジングについている矢印 (①) に、ハンドルホルダーの取っ手を合わせるように調整してください。
2. ハンドルの間、スイーパーの前に立ってください。
3. 両手で両方のハンドルをつかんでください。
4. 丁寧に両方のハンドルホルダーを外側へ押し広げてください。
5. 同時にスイーパーのハウジングからハンドルホルダーを引き抜いてください。



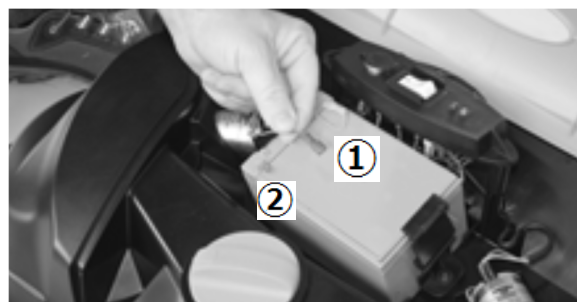
7.2 バッテリーケーブルの取りはずし

⚠ 注意

不適切な取りはずしによるスイーパーへの損傷。

- ・保管期間が2か月以上の場合：バッテリーケーブルをはずし、バッテリーを放電から守ります。
- ・ケーブルをバッテリーに間違えて接続するとスイーパーが損傷し、保証できなくなることがあります。

1. 前方の底部の端でカバーを前方に引きます。
2. カバーを上を開けます。
3. バッテリーケーブル(青色)の接続端子(①)を取りはずします(②)。



7.3 スイーパーの保管

⚠ 注 意

不適切な保管によるスイーパーへの損傷。

- ・ブラシの毛が曲がらないようにスイーパーをおいてください。
- ・倒れたり落下したりしないようにスイーパーを固定してください。
- ・屋根のある場所で保管してください。
- ・直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・火やファンヒーター・ストーブ、その他の放熱設備など熱源のそばでは保管しないでください。

注)

- ・ダストケースのゴミを捨ててから保管してください。（「5.6 ダストケースを空にする」を参照）
- ・保管時、ハンドルやスイーパー本体が転倒しないように確実に固定してください。
- ・バッテリーケーブルは保管期間が約30日以上の際、必ず取りはずしてください。バッテリーを充電せずに2か月間放置すると放電する危険性があります。
- ・バッテリーケーブルをはずします。
（「7.2 バッテリーケーブルの取りはずし」を参照）
- ・省スペース保管：立てて保管してください。
- ・スイーパーの掃除。（「5.7 スイーパーの掃除」を参照）



○ 保守および注意

事故の危険性

スイーパーの誤った動作によるけがの危険性。

- ・すべての作業を行う場合は、スイーパーをOFFにして電源をはずす必要があります。
- ・バッテリーからケーブルをはずします。
- ・走行中の作業は行わないでください。

⚠ 注 意

不適切な保守によるスイーパーへの損傷。

- ・定期的にスイーパーのメンテナンスを行ってください。
- ・この取扱説明書に記載のメンテナンスおよび修理だけを実施してください。
- ・修理やオーバーホールをする場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。
- ・純正部品を使用してください。事故および損傷の恐れがあります。
- ・ご不明な点は販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

8. 1 定期保守

8. 1. 1 運転準備

スイーパーの状態を確認してください。

ハンドルがスイーパー本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。

ダストケースの状態を確認し、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

円形ブラシおよびブラシロールの汚れをチェックし、ブラシが自由に動くことを確認してください。

必要ならば円形ブラシおよびブラシロールの汚れを取り除いてください。

円形ブラシの高さ調整を確認し清掃面との高さを調整してください。

(「5.4 スイーパーの調整」を参照)

清掃圧力調整を確認してください。清掃面との距離を調整してください。

ハンドルの汚れなどは落としてください。

スイーパーの損傷を確認し必要ならば販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

スイーパーのスイッチを「0」位置に移動することができるか確認してください。

充電器接続ソケットに異物がないか確認してください。

スイーパーのスイッチを「I」位置に切り替えた際、スイーパーが後進またはその場で回転してしまう場合は、ギヤスリーブが外側に回転するか確認してください。回転しない場合ギヤスリーブを取りはずし汚れを除去してから、スムーズに回転することを確認してください。

スーパーのスイッチを「I」位置に切り替えた際、円形ブラシが両側正常に回るか確認してください。正常に回らない場合はギヤホイールの摩耗の可能性があります。ギヤホイールを確認して摩耗している場合は交換してください。交換した際はグリスOKS 250（スプレー式OKS 250 1）を塗布してください。



⚠ 注 意

- ・充電ソケットは導電性のものを挿入しないでください。充電ソケットの短絡によってスーパーが損傷することがあります。
- ・保守および掃除を行う前にバッテリーのケーブルをはずしてください。

火の危険

充電ソケットの短絡はスーパーのケーブルの火災につながる可能性があります。

- ・充電ソケットの掃除は可燃性の液体を使用しないでください。

8. 1. 2 作業終了後

- フィルターを掃除してください。（「8.2 フィルターの掃除」を参照）
- スーパーを掃除してください。（「5.7 スーパーの掃除」を参照）
- バッテリーを充電してください。（「4.3 バッテリーを充電する」を参照）

8. 1. 3 8時間の運転のたびに

- ブラシ装置を掃除してください。（「5.7 スーパーの掃除」を参照）

8. 1. 4 2ヶ月毎に

- バッテリーを充電してください。（「4.3 バッテリーを充電する」を参照）

8.2 フィルターの掃除

負傷の危険性

- ・圧縮空気で清掃しないでください。
1. ダストケースをはずしてください。
 2. フィルターフレームをガイドの外に引き出してください。
 3. フィルターフレームからフィルターを取りはずしてください。
 4. フィルターを清掃してください。
 5. 水でフィルターを洗浄し、十分に乾燥させてください。
 6. フィルターフレームを洗浄後、元の位置に取り付けてください。
 7. ガイドに両方のフィルターフレームを取り付けてください。
 8. ダストケースを取り付けてください。



8.3 閉塞を取り除く

負傷の危険性

- ・ガラスの破片、金属またはその他鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。
1. ブラシおよび軸に巻きついたロープやひも状のゴミを取り除いてください。
 2. 詰まったものを取り除いてください。(石、枝など)

8.4 スイーパーの清掃

⚠ 注意

- ・不適切な潤滑剤によるスイーパーへの損傷。
 - ・オイルやグリスの使用はブラシ装置の機能を損なう可能性があります。
1. スイーパーに付着した汚れは、水洗いを行った後、布で水分を取り除いてください。

8.5 ブラシの毛を真直ぐにする

引火の恐れあり

- ・ブラシの毛を温めるために裸火またはバーナを使用しないでください。
- ・ヒートガンを使用しないでください。過度な温風を当てるとブラシが溶ける可能性があります。

注)

再度、熱風送風機であたためると曲がったブラシの毛を真直ぐにすることができます。

熱風送風機（ヘアドライヤー）を使用してブラシの毛を加熱してください。曲がったブラシの毛が真直ぐになります。



○ 仕 様

スィーパー	
型 式	ES-B770A
清 掃 幅	770 mm
清掃性能 (4.2km/h の場合)	3,230 m ² /h
ダストケース容量	50 ℓ
本体寸法 (使用時)	1,050 (L)×800 (W)×1,050 (H) mm
質 量	21 kg
バッテリー駆動時間	約 3 時間 (使用状況により異なります)

バッテリー	
型 式	Long WP12-12
電 圧	12 V
容 量	12 Ah
質 量	3.8 kg
温度範囲	
・使用温度	-10 ～ 50℃
・充電温度	0 ～ 40℃
・保管温度	-10 ～ 40℃

充 電 器	
型 式	FY1503000
入力電圧	AC 100-240 V 50/60 Hz
出力電圧	DC 15.0 V
充電終了電圧	13.3 V
充電電流	3 A
質 量	0.4 kg
温度範囲	
・使用温度	-10 ～ 40℃
・保管温度	-10 ～ 40℃

○ トラブルシューティング

現 象	原 因	対 策
スリーパーは鈍く動く。 スムーズに動かない	スリーパーの汚れ	スリーパーを掃除してください （「5.7 スリーパーの掃除」を参照）
	ブラシの詰まり	詰まりを取り除いてください （「8.3 閉塞を取り除く」を参照）
	ブラシ装置の汚れ	ブラシ装置を掃除してください （「5.7 スリーパーの掃除」を参照）
	円形ブラシの高さ調整が低すぎる 円形ブラシの接地圧が高すぎる	円形ブラシの高さを調整してください （「5.4 スリーパーの調整」を参照）
	円形ブラシが回転しない	円形ブラシ内にある傾斜ホイールを点検してください
スリーパーが後進または、その場で回転する	ギヤスリーブに汚れが付着している ギヤスリーブがスムーズに回転しない	ギヤスリーブを取りはずし汚れを除去してください
円形ブラシが両側回転しない	ギヤホイールが摩耗している	ギヤホイールを交換する 交換の際、グリスOKS 250を塗布する
スイッチがオフに切り替わる	円形ブラシの高さ調整が低すぎる 円形ブラシの接地圧が高すぎる	円形ブラシの高さを調整してください （「5.4 スリーパーの調整」を参照）
	ブラシがロックされた	スリーパーを清掃してください （「5.7 スリーパーの掃除」を参照）
	過負荷保護装置が働いた	詰まりを取り除いてください （「8.3 閉塞を取り除く」を参照）
	スリーパーのLEDランプが赤色に点灯する	バッテリーの充電状態を確認してください バッテリーを充電してください
ブラシが曲がる	不適切な保管	ブラシをまっすぐにしてください （「8.5 ブラシの毛を真直ぐにする」を参照）
十分に清掃できない	・スリープリップがなくなっている ・スリープリップが緩んでいる ・スリープリップがひどくすり減っている	スリープリップを交換してください



本社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-17-13
草加工場 〒340-0003 草加市稲荷 5-26-1

Tel 03-3434-8455 FAX 03-3434-1658
Tel 048-931-1111 FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>